

## 〈マツバギク立枯病〉



病斑部からくびれる



植栽地での坪枯れ症状

## 〈マツバギク立枯病〉

病原菌：Rhizoctonia solani Kühn

### 1. 症 状

地際の茎部に暗緑色、水浸状の病斑を生じ、やがて病斑部からくびれ、軟化腐敗し、枯死する。罹病株及び周辺の土壌表面には白色～単褐色の菌糸が蔓延し、隣接株に拡がり、坪枯れ状となる。

### 2. 生 態

病原菌は各種の植物を侵す。また耐久性のある菌核を形成する。

### 3. 防 除

1) 発病株は直ちに除去する。 2) 健全株から採種する。 3) 過湿を避ける。

### 4. 記 事

本病は1993年6月、立川市等の植栽地で発生した。また、同年10月には江戸川区の苗生産地にも発生が認められた。